2026年11月13日

各　位

会 社 名　　徳倉建設株式会社
代表者名　　代表取締役社長　徳倉　克己
（コード：１８９２、名証メイン市場）
問合せ先　　取締役経営管理本部長　郡司　哲夫
（TEL．０５２－９６１－３２７１）

2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年５月13日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績において差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（Ａ）	35,000	1,400	1,300	1,000	480円16銭
実績値（Ｂ）	31,672	1,895	1,974	1,388	663円46銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△3,327	495	674	388	
増減率（％）	△9.5	35.4	51.9	38.9	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期 第２四半期）	31,918	1,149	1,237	852	410円39銭

２．差異の理由

当第２四半期（中間期）連結累計期間の売上高につきましては、一部の大型工事等において着工の遅れや発注者との協議等に伴う工期の延伸が生じ、工事進捗（出来高）の一部が下期以降へ後ずれしたことなどから、前回発表の業績予想を下回ることとなりました。

一方、利益面につきましては、手持工事における原価低減の進展や採算性の改善等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも前回発表の予想を上回ることとなりました。

なお、今後の受注動向や資材価格・労務費の高止まりなど、経営環境の先行きは依然として不透明であることから、2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では前回公表数値を据え置いております。
今後、業績予想の修正が必要であると見込まれた場合には、速やかに公表いたします。

以　上